

小田原市低炭素都市づくり計画



小田原市

はじめに

近年、地球温暖化による気温上昇や異常気象の増加は、私たちの生活に深刻な影響を与えています。これ以上の地球温暖化を防ぐためには、2050年までに世界の温室効果ガスの排出量を、2010年に比べて40～70%削減する必要があると言われております。

また、東日本大震災を契機とするエネルギー需給の変化や地球温暖化への意識の高揚を踏まえ、都市・交通の低炭素化やエネルギー利用の合理化への対応が重要となっております。

こうした社会情勢の中で本市が持続可能な都市であるためには、都市計画・都市づくりにおいても地球温暖化対策を強化する必要があり、都市の集約化による取り組みが有効です。

そこで、小田原市都市計画マスタープランと小田原市地球温暖化対策推進計画における集約型・低炭素型都市づくりの具体の方向性を示すため、2050年度を目標年次とする、都市の低炭素の促進に関する法律に基づく「小田原市低炭素都市づくり計画」を策定しました。

～ 目次 ～

序章 低炭素都市づくり計画について	1
背景と目的	1
計画区域	1
低炭素都市づくり計画の位置付け	2
1 章 小田原市の現況と課題	4
1-1 小田原市の二酸化炭素の排出状況	4
1-2 土地利用・都市構造分野	4
1-3 交通分野	9
1-4 エネルギー分野	14
1-5 みどり分野	16
2 章 低炭素都市づくりの目標及び将来像	17
2-1 低炭素都市づくりの将来像	17
2-2 小田原市の目標値	24
3 章 低炭素都市づくりの方針	30
3-1 基本方針	30
3-2 全体構想	30
3-2-1 都市構造分野 (鉄道軸を生かした拠点集約型の都市づくり)	30
3-2-2 交通分野 (環境に優しい交通手段で誰もが「おでかけ」できる都市づくり)	32
3-2-3 エネルギー分野 (地域で創るエネルギーを生かした都市づくり)	35
3-2-4 みどり分野 (地域の力でみどりを守り、生み出す都市づくり)	38
3-3 集約拠点地域構想	39
3-3-1 小田原駅周辺集約拠点地域の低炭素化の施策	40
3-3-2 鴨宮駅周辺集約拠点地域の低炭素化の施策	42
3-3-3 国府津駅周辺集約拠点地域の低炭素化の施策	43
4 章 低炭素都市づくりにおける二酸化炭素排出量の削減効果	44
5 章 低炭素都市づくり計画の実現に向けて	49
5-1 ロードマップ	49
5-2 推進管理体制	53

